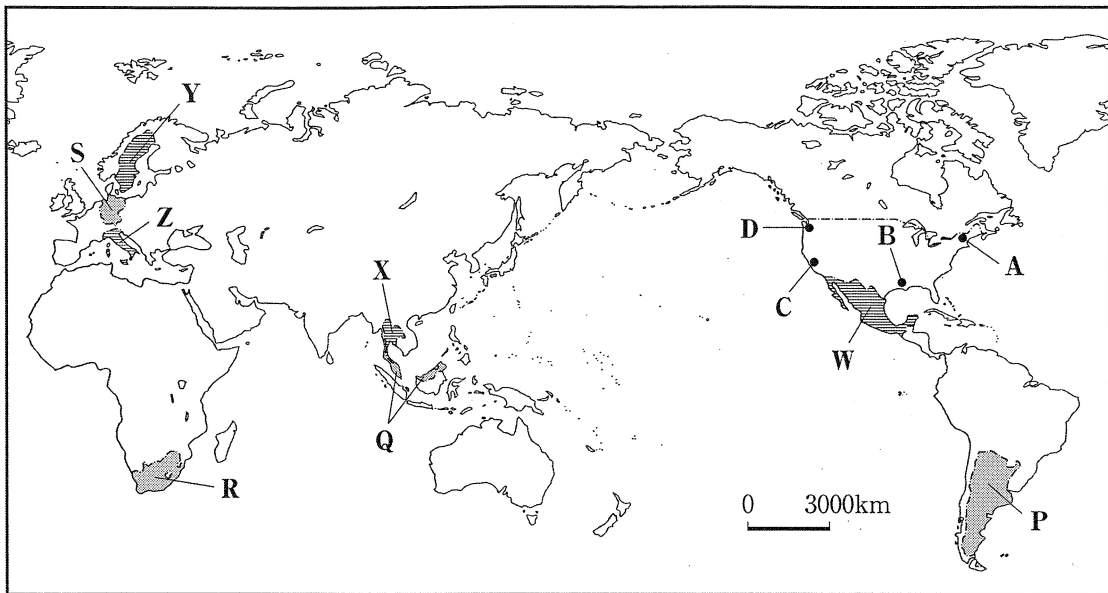


第1回 令和3年度 高専入試 そっくり🍡模試

社 会

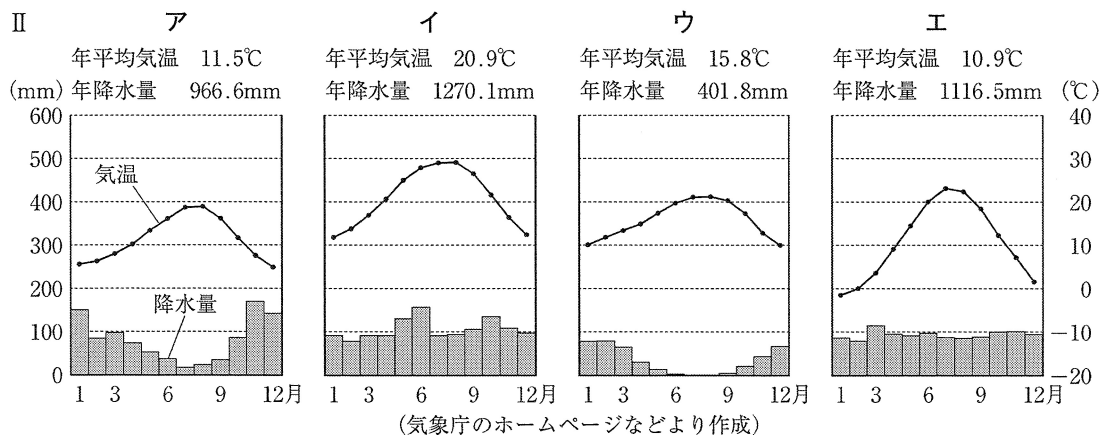
1

次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



〔問1〕 次のⅠの文章は、略地図中のA～Dのいずれかの都市の様子についてまとめたものである。Ⅱのグラフは、A～Dのいずれかの都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅰの文章で述べている都市に当てはまるのは、略地図中のA～Dのうちのどれか、また、その都市のグラフに当てはまるのは、ⅡのA～エのうちのどれか。

Ⅰ サンベルト北限付近に位置し、冬季は温暖で湿潤だが、夏季は乾燥し、寒流の影響で高温にならず、一年を通して過ごしやすい。周辺には1885年に大学が設立され、1950年代から半導体の生産が始まり、情報分野で世界的な企業が成長し、現在も世界各国から研究者が集まっている。



〔問2〕 次の表のA～エは、略地図中に  で示したP～Sのいずれかの国の、2017年における自動車の生産台数、販売台数、交通や自動車工業の様子についてまとめたものである。略地図中のP～Sのそれぞれの国に当てはまるのは、次の表のA～エのうちではどれか。

	自動車		交通や自動車工業の様子
	生産 (千台)	販売 (千台)	
ア	460	591	○年間数万隻の船舶が航行する海峡に面する港に高速道路が延び、首都では渋滞解消に向け鉄道が建設された。 ○1980年代には、日本企業と協力して熱帯地域に対応した国民車の生産が始まり、近年は政策としてハイブリッド車などの普及を進めている。

イ	472	900	○現在も地殻変動が続き、国土の西側に位置し、国境を形成する山脈を越えて、隣国まで続く高速道路が整備されている。 ○2017年は、隣国の需要の低下により乗用車の生産が減少し、パンパでの穀物生産や牧畜で使用するトラックなどの商用車の生産が増加した。
ウ	5646	3811	○国土の北部は氷河に削られ、城郭都市の石畳の道や、1930年代から建設が始まった速度制限のない区間が見られる高速道路が整備されている。 ○酸性雨の被害を受けた経験から、自動車の生産では、エンジンから排出される有害物質の削減に力を入れ、ディーゼル車の割合が減少している。
エ	590	556	○豊富な地下資源を運ぶトラックから乗用車まで様々な種類の自動車が見られ、1970年代に高速道路の整備が始められた。 ○欧州との時差が少なく、アジアまで船で輸送する利便性が高いことを生かして、欧州企業が日本向け自動車の生産拠点を置いている。

(「世界国勢図会」2018/19年版などより作成)

〔問3〕 次のⅠとⅡの表のA～Eは、略地図中に  で示したW～Zのいずれかの国に当てはまる。Ⅰの表は、1993年と2016年における進出日本企業数と製造業に関わる進出日本企業数、輸出額が多い上位3位までの貿易相手国、Ⅱの表は、1993年と2016年における日本との貿易総額、日本の輸入額上位3位の品目と日本の輸入額に占める割合を示したものである。Ⅲの文章は、ⅠとⅡの表におけるA～Eのいずれかの国について述べたものである。Ⅲの文章で述べている国に当てはまるのは、略地図中のW～Zのうちのどれか、また、ⅠとⅡの表のA～Eのうちのどれか。

		進出日本企業数		輸出額が多い上位3位までの貿易相手国		
			製造業	1位	2位	3位
A	1993年	875	497	アメリカ合衆国	日本	シンガポール
	2016年	2318	1177	アメリカ合衆国	中華人民共和国	日本
イ	1993年	44	4	ドイツ	イギリス	アメリカ合衆国
	2016年	80	19	ノルウェー	ドイツ	デンマーク
ウ	1993年	113	56	アメリカ合衆国	カナダ	スペイン
	2016年	502	255	アメリカ合衆国	カナダ	中華人民共和国
エ	1993年	164	46	ドイツ	フランス	アメリカ合衆国
	2016年	237	72	ドイツ	フランス	アメリカ合衆国

(国際連合「貿易統計年鑑」2016などより作成)

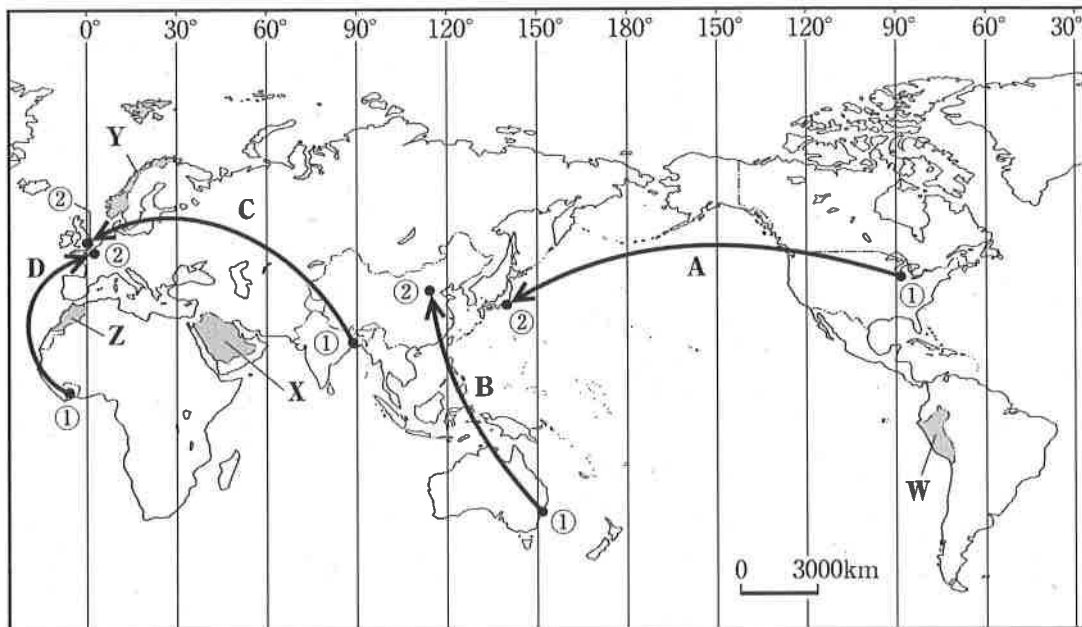
		貿易総額 (億円)	日本の輸入額上位3位の品目と日本の輸入額に占める割合(%)			
			1位	2位	3位	
A	1993年	20885	魚介類 15.3	一般機械 11.3	電気機器 10.7	
	2016年	51641	電気機器 21.1	一般機械 13.6	肉類・同調製品 8.0	
イ	1993年	3155	電気機器 20.4	医薬品 16.7	自動車 15.3	
	2016年	3970	医薬品 29.4	一般機械 11.9	製材 9.7	
ウ	1993年	5608	原油・粗油 43.3	塩 8.1	果実及び野菜 7.8	
	2016年	17833	原油 23.2	電気機器 17.0	自動車部品 7.9	
エ	1993年	7874	一般機械 11.6	衣類 10.3	織物用糸・繊維製品 10.2	
	2016年	14631	一般機械 12.1	バッグ類 10.9	医薬品 10.0	

(国際連合「貿易統計年鑑」2016などより作成)

Ⅲ 雨季と乾季があり、国土の北部から南流し、首都を通り海に注ぐ河川の両側に広がる農地などで生産される穀物が、1980年代まで主要な輸出品であったが、1980年代からは工業化が進んだ。2016年には、製造業の進出日本企業数が1993年と比較し2倍以上に伸び、貿易相手国として中華人民共和国の重要性が高まった。また、この国と日本との貿易総額は1993年と比較し2倍以上に伸びており、電気機器の輸入額に占める割合も2割を上回るようになった。

2

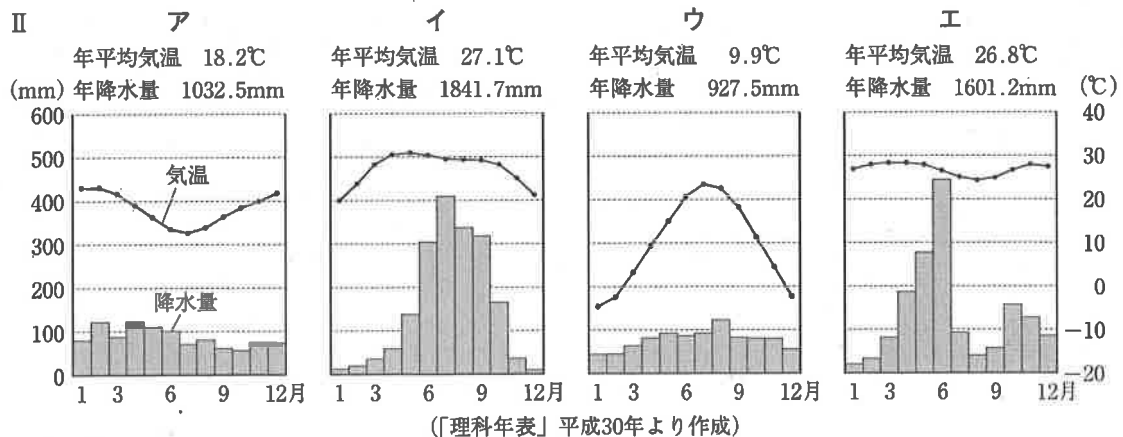
次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



〔問1〕 略地図中に① → ②で示したA～Dは、農産物の買い付けを行う企業の社員が、それぞれの①の都市にある空港から②の都市にある空港まで、航空機を利用して移動した経路を模式的に示したものである。次のIの文章は、A～Dのいずれかの経路における移動の様子などについて述べたものである。IIのア～エのグラフは、A～Dのいずれかの経路における①の都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Iの文章で述べている経路に当てはまるのは、略地図中のA～Dのうちのどれか、また、その経路における①の都市のグラフに当てはまるのは、IIのア～エのうちのどれか。

I この社員は、国際的な穀物市場が立地する①の都市において、とうもろこしの買い付けを行った後、企業が所在する②の都市に移動した。①の都市を現地時間で3月1日午後5時30分に出発し、飛行時間13時間を要して、②の都市の現地時間で3月2日午後9時30分に到着した。

(注) 時差については、サマータイム制度を考慮しない。

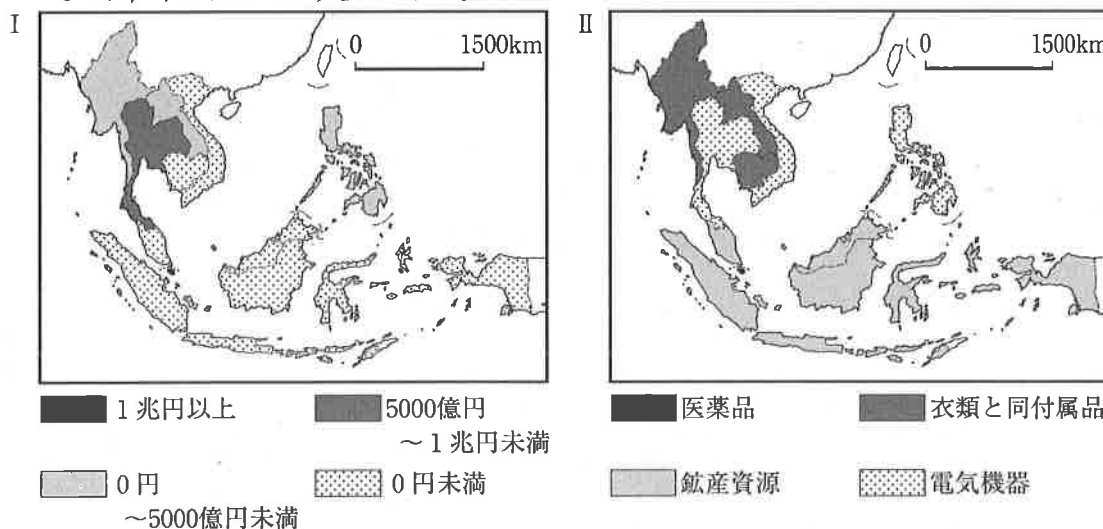


〔問2〕 次のページの表のア～エは、略地図中に  で示したW～Zのいずれかの国の、2014年における漁獲量、日本に輸出される魚介類の漁法などについてまとめたものである。略地図中のW～Zのそれぞれの国に当てはまるのは、次のページの表のア～エのうちではどれか。

	漁獲量 (万 t)	日本に輸出される魚介類の漁法など
ア	7	○首都は内陸部に位置しており、淡水が流れ込みにくいいため塩分濃度が高くなっている海水を活用して、日本に輸出されるえびが養殖されている。 ○えびは国内において消費されるとともに、有望な輸出品としても位置付けられており、新たな養殖場を建設するなど、投資を拡大する取り組みが進められている。
イ	137	○首都は国土を東西方向に走る山脈の北側に位置しており、日本に輸出されるたこの漁場周辺では、北から南へ寒流が流れ、たこ壺漁などの漁法が用いられている。 ○たこを日常的に食べる文化は見られないが、たこの輸出促進のため、加工品の冷凍技術や品質管理技術を向上させる取り組みが進められている。
ウ	230	○首都は冬季においても凍らない湾の奥に位置しており、日本に輸出されるさばの漁場周辺では、南から北へ暖流が流れ、まき網漁などの漁法が用いられている。 ○さばを日常的に食べる文化が見られ、国内において食材として消費されるとともに、輸出を拡大する取り組みが進められている。
エ	357	○首都は乾燥帯に位置しており、日本に輸出される魚粉の原料となるかたくちいわしの漁場周辺では、南から北へ寒流が流れ、大小様々な漁船が操業している。 ○かたくちいわしを日常的に食べる文化は見られないが、山岳地域に居住する国民のたん白質摂取不足を解消するため、食用として加工する取り組みが進められている。

(「データブック オブ・ザ・ワールド」2018年版などより作成)

〔問3〕 次のⅠの略地図は、2016年における日本と東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国それぞれの国との貿易額について、日本の輸出額から日本の輸入額を引いた差を示したものである。Ⅱの略地図は、2016年における日本と東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国それぞれの国との貿易額について、日本の輸入額が最も多い品目を、「医薬品」、「衣類と同付属品」、「鉱産資源」、「電気機器」に分類して示したものである。Ⅲの文章で述べている国に当てはまるのは、下のア～エのうちのどれか。

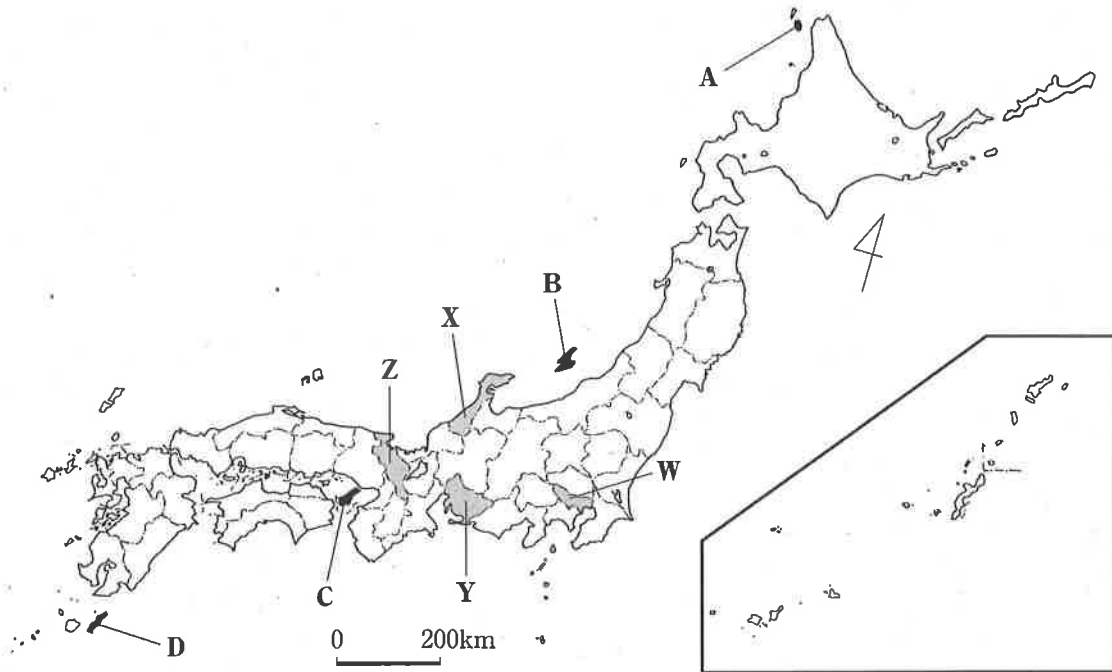


(「データブック オブ・ザ・ワールド」2018年版などより作成)

Ⅲ フランスから1953年に独立し、その後に始まった内戦が1990年代に終結した後、1999年に東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟した。2000年代に入り、世界遺産に登録されているヒンドゥー教寺院などの遺跡群を活用した観光業に加え、工業化を推進している。
1990年代までのこの国からの日本の輸入品は木材などの一次産品が最も多く、日本の貿易黒字が継続する傾向であったが、この国の工業化の進展に伴って変化が見られた。2000年代からは日本の貿易赤字が継続する傾向に転じ、2016年における日本の最大の輸入品は衣類などであり、日本からこの国への輸出額は333億円、日本のこの国からの輸入額は1310億円であった。

ア タイ イ カンボジア ウ ミャンマー エ ベトナム

3 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



〔問1〕 次の表のア～エの文章は、略地図中に ■ で示した、A～Dのいずれかの島の2015年における人口、自然環境、産業と地域振興の様子についてまとめたものである。略地図中のA～Dのそれぞれの島に当てはまるのは、次の表のア～エのうちではどれか。

	人 口 (人)	自然環境、産業と地域振興の様子
ア	29847	○島の全域に平坦な丘陵が見られ、宇宙開発の拠点となる施設を活用した観光業とともに、さとうきびなどを生産する農業が主な産業となっている。 ○島外の大学と連携したり、企業や研究施設などを積極的に誘致したりして、島内における雇用の拡大を図っている。
イ	5090	○島の中央部には火山が見られ、国立公園を活用した観光業とともに、高級品として知られる昆布やうにを養殖するなどの漁業が主な産業となっている。 ○全国から漁業就業希望者を募集して、漁業体験研修を実施し、就業支援を行うなど、島内における後継者の育成を図っている。
ウ	57255	○島の中央部には、北側と南側にある山地に挟まれた平野が見られ、鉱山跡の遺跡を活用した観光業とともに、銘柄米などを生産する農業が主な産業となっている。 ○製粉した米を原料とした加工品の製造販売を行うなど、農業の第6次産業化を推進し、島内における雇用の拡大を図っている。
エ	135147	○島の北部には丘陵、中央部には平野、南部には山地が見られ、漁業とともに、レタスなどの野菜を生産する農業が主な産業となっている。 ○島外へ通勤する住民に対して交通費などを補助する事業を行うなど、島内における定住者の増加を図っている。

(2015年国勢調査などより作成)

〔問2〕 次のページのIの表のア～エは、略地図中に ■ で示した、W～Zのいずれかの都府県の、2016年における、製造業事業所数、製造業事業所数のうち繊維工業事業所数、製造業

従業者数、製造業従業者数のうち繊維工業従業者数、製造品出荷額を示したものである。Ⅱの文章は、W～Zのいずれかの都府県の製造業などの様子についてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている都府県に当てはまるのは、Ⅰの表のA～Eのうちのどれか、また、略地図中のW～Zのうちのどれか。

I

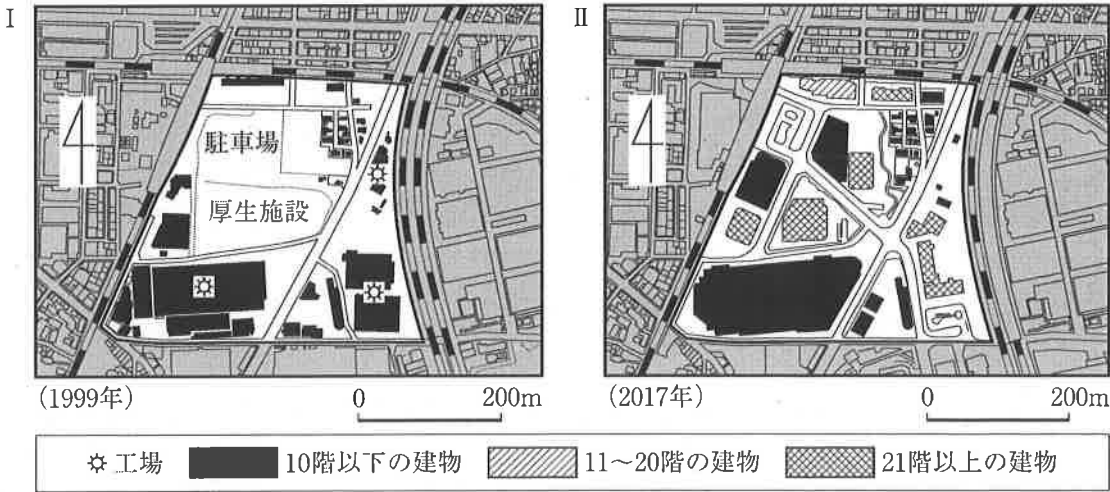
	製造業事業所数	繊維工業事業所数	製造業従業者数 (人)	繊維工業従業者数 (人)	製造品出荷額 (億円)
A	21092	1082	285437	6481	85452
I	21856	1674	834236	22201	461948
ウ	4037	798	97179	11389	28276
E	6506	1474	141952	10796	53624

(2016年経済センサスより作成)

Ⅱ

○2016年の繊維工業事業所における1事業所当たりの平均従業者数は10人未満であり、伝統的工芸品に指定されている西陣織 にしじんおり などを生産する小規模な事業所が立地する町並は観光資源としても活用されており、町屋などの歴史的景観を保存する取り組みが進められている。
○伝統的工芸品を生産する高度な技術は、電子・精密機械産業などの他の産業に応用されており、この都府県内に所在する企業は、世界的に評価されている高度な技術を有し、大学などと共同して研究開発を行っている。

〔問3〕 次のⅠとⅡの略地図は、1999年と2017年における首都圏に位置するA市の一部を示したものである。Ⅲの表は、ⅠとⅡの略地図中に太線（———）で囲まれた地域の、1999年と2017年における人口を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料から読み取れる、1999年と比較した2017年における太線（———）で囲まれた地域の変容について、立地及び土地利用に着目し、簡単に述べよ。



(国土地理院のホームページなどより作成)

Ⅲ

	1999年	2017年
人口 (人)	269	6017

(総務省の資料などより作成)

紙は、様々な目的に使用され、私たちの生活に役立ってきた。

古代では、様々な手段で情報を伝え、支配者はクニと呼ばれるまとまりを治めてきた。我が国に紙が伝来すると、⁽¹⁾支配者は、公的な記録の^{へんさん}編纂や情報の伝達に紙を用い、政治を行ってきた。

中世に入ると、⁽²⁾屋内の装飾の材料にも紙が使われ始め、我が国独自の住宅様式の確立につながっていった。

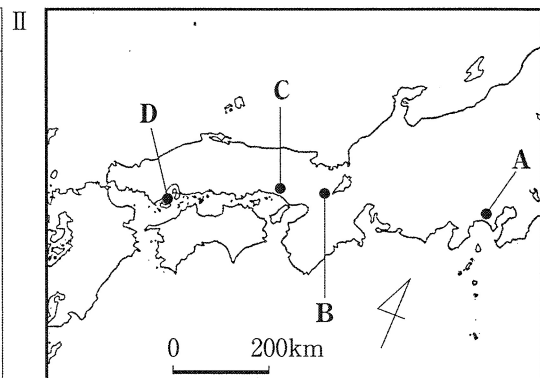
江戸時代には、各藩のひっ迫した財政を立て直すために工芸作物の生産を奨励される中で、各地で紙が生産され始め、人々が紙を安価に入手できるようになった。⁽³⁾安価に入手できるようになった紙は、書物や浮世絵などの出版にも利用され、文化を形成してきた。

明治時代以降、欧米の進んだ技術を取り入れたことにより、従来から用いられていた紙に加え、西洋風の紙が様々な場面で使われるようになった。さらに、⁽⁴⁾生産技術が向上すると、紙の大量生産も可能となり、新聞や雑誌などが広く人々に行き渡るようになった。

- 〔問 1〕⁽¹⁾支配者は、公的な記録の^{へんさん}編纂や情報の伝達に紙を用い、政治を行ってきた。とあるが、次のア～エは、飛鳥時代から室町時代にかけて、紙が政治に用いられた様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。
- ア 大宝律令が制定され、天皇の文書を作成したり図書の管理をしたりする役所の設置など、大陸の進んだ政治制度が取り入れられた。
- イ 武家政権と公家政権の長所を政治に取り入れた建武式目が制定され、治安回復後の京都に幕府が開かれた。
- ウ 全国に支配力を及ぼすため、紙に書いた文書により、国ごとの守護と^{しやうえん}荘園や公領ごとの地頭を任命する政策が、鎌倉で樹立された武家政権で始められた。
- エ 各地方に設置された国分寺と国分尼寺へ、僧を派遣したり經典の写本を納入したりするなど、様々な災いから仏教の力で国を守るための政策が始められた。

- 〔問 2〕⁽²⁾屋内の装飾の材料にも紙が使われ始め、我が国独自の住宅様式の確立につながっていった。とあるが、次のⅠの略年表は、鎌倉時代から江戸時代にかけての、我が国の屋内の装飾に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの略地図中の A～D は、我が国の主な建築物の所在地を示したものである。Ⅲの文は、ある時期に建てられた建築物について述べたものである。Ⅲの文で述べている建築物が建てられた時期に当てはまるのは、Ⅰの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。また、Ⅲの文で述べている建築物の所在地に当てはまるのは、Ⅱの略地図中の A～D のうちのどれか。

Ⅰ	西暦	我が国の屋内の装飾に関する主な出来事	
	1212	●鴨長明が「方丈記」の中で、障子の存在を記した。	ア
	1351	●藤原隆昌と父が「慕婦絵」の中で、襖に絵を描く僧の様子を表した。	イ
	1574	●織田信長が上杉謙信に「洛中洛外図屏風」を贈った。	ウ
	1626	●狩野探幽が二条城の障壁画を描いた。	エ
	1688	●屏風の売買の様子を記した井原西鶴の「日本永代蔵」が刊行された。	



- Ⅲ 慈照寺にある東求堂同仁斎には、障子や襖といった紙を用いた^{たてぐ}建具が取り入れられ、我が国の和室の原点と言われる書院造の部屋が造られた。

〔問3〕⁽³⁾ 安価に入手できるようになった紙は、書物や浮世絵などの出版にも利用され、文化を形成してきた。とあるが、次の文章は、江戸時代の医師が著した「後見草」の一部を分かりやすく示したものである。下のア～エは、江戸時代に行われた政策について述べたものである。この書物に書かれた出来事の4年後から10年後にかけて主に行われた政策について当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

- 天明^{てんめい}3年7月6日夜半、西北の方向に雷のような音と振動が感じられ、夜が明けても空はほの暗く、庭には細かい灰が舞い降りていた。7日は灰がしだいに大粒になり、8日は早朝から激しい振動が江戸を襲ったが、当初人々は浅間山が噴火したとは思わず、日光か筑波山で噴火があったのではないかと噂^{うわさ}し合った。
- ここ3、4年、気候も不順で、五穀の実りも良くなかったのに、またこの大災害で、米価は非常に高騰し、人々の困窮は大変なものだった。

- ア 物価の引き下げを狙って、公認した株仲間を解散させたり、外国との関係を良好に保つよう、外国船には燃料や水を与えるよう命じたりするなどの政策を行った。
- イ 投書箱を設置し、民衆の意見を政治に取り入れたり、税収を安定させて財政再建を図ることを目的に、新田開発を行ったりするなどの政策を行った。
- ウ 税収が安定するよう、株仲間を公認したり、長崎貿易の利益の増加を図るため、^{たわらもの}俵物と呼ばれる海産物や銅の輸出を拡大したりするなどの政策を行った。
- エ 幕府が旗本らの生活を救うため借金を帳消しにする命令を出したり、江戸に出稼ぎに来ていた農民を農村に返し就農を進め、飢饉^{ききん}に備え各地に米を蓄えさせたりするなどの政策を行った。

〔問4〕⁽⁴⁾ 生産技術が向上すると、紙の大量生産も可能となり、新聞や雑誌などが広く人々に行き渡るようになった。とあるが、次の略年表は、明治時代から昭和時代にかけての、我が国の紙の製造や印刷に関する主な出来事についてまとめたものである。略年表中のAの時期に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

西暦	我が国の紙の製造や印刷に関する主な出来事
1873	● ^{しぶさわえいち} 渋沢栄一により洋紙製造会社が設立された。
1876	●日本初の純国産活版洋装本が完成した。
1877	●国産第1号の洋式紙幣である国立銀行紙幣が発行された。
1881	●日本で初めての肖像画入り紙幣が発行された。
1890	●東京の新聞社が、フランスから輪転印刷機を輸入し、大量高速印刷が実現した。
1904	●初の国産新聞輪転印刷機が大阪の新聞社に設置された。
1910	●北海道の ^{しほこま} 苫小牧で、新聞用紙国内自給化の道を拓く製紙工場が操業を開始した。……………
1928	●日本初の原色グラビア印刷が開始された。
1933	●3社が合併し、我が国の全洋紙生産量の85%の生産量を占める製紙会社が誕生した。……………
1940	●我が国の紙・板紙の生産量が過去最大の154万トンになった。

A

- ア 国家総動員法が制定され国民への生活統制が強まる中で、東京市が隣組回覧板を10万枚配布し、毎月2回の会報の発行を開始した。
- イ 官営の製鉄所が開業し我が国の重工業化が進む中で、義務教育の就学率が90%を超え、国定教科書用紙が和紙から洋紙に切り替えられた。
- ウ 東京でラジオ放送が開始されるなど文化の大衆化が進む中で、週刊誌や月刊誌の発行部数が急速に伸び、東京の出版社が初めて1冊1円の文学全集を発行した。
- エ 廃藩置県により、実業家や政治の実権を失った旧藩主による製紙会社の設立が東京において相次ぐ中で、政府が製紙会社に対して地券用紙を大量に発注した。

私たちの社会では、人が移動したり、ものなどを移動させたりすることで、生活の様子が変化してきた。

古代から、各時代の権力者は、⁽¹⁾政治を行う拠点を移し、政治体制の刷新や整備を図り、権力基盤を強化してきた。

近世に入ると、造船技術の向上や海上航路の開拓などにより人の移動する範囲が拡大し、海外との貿易が盛んになった。また、⁽²⁾我が国から東南アジアに渡り、定住する者も現れた。

明治時代以降、⁽³⁾欧米の技術を取り入れたことで、より多くの人やものの移動が可能となり、経済が活性化して欧米諸国に並ぶ発展を遂げた。

さらに、船舶の大型化や航空機の高速化が進むと、人やものなどの海外への移動が一層円滑になり、⁽⁴⁾我が国も様々なものを輸入したり、輸出したりするようになった。

〔問1〕 政治を行う拠点を移し、政治体制の刷新や整備を図り、権力基盤を強化してきた。とあるが、⁽¹⁾次のア～エは、飛鳥時代から安土・桃山時代にかけての政治を行う拠点の様子などについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 織田信長は、水運と陸上交通が結び付く要衝の地に拠点を移し、城を築いた山の麓に城下町を整備し、楽市・楽座の政策を進め、商工業を重視する体制を推進した。

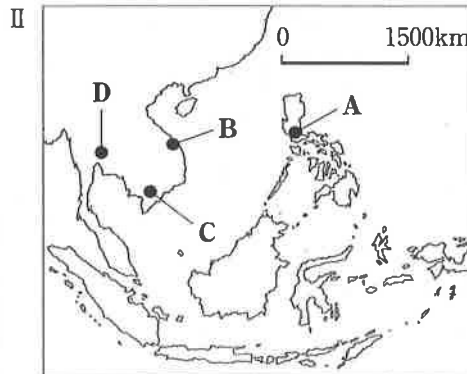
イ 桓武天皇は、鴨川と桂川が流れる地に拠点を移し、東寺、西寺などの一部を除き、寺院を建てることを禁止して、貴族や僧の権力争いによる政治的混乱からの立て直しを図った。

ウ 元明天皇は、和同開珎が流通し始めた頃、盆地の北端に位置する地に拠点を移し、貴族の住居などを整備し、律令制による政治体制を整えた。

エ 平清盛は、宋との貿易港である大輪田泊に近接した地に拠点を移し、法皇を中心として貴族と寺社が集まっている地から離れて平氏政権の確立を図った。

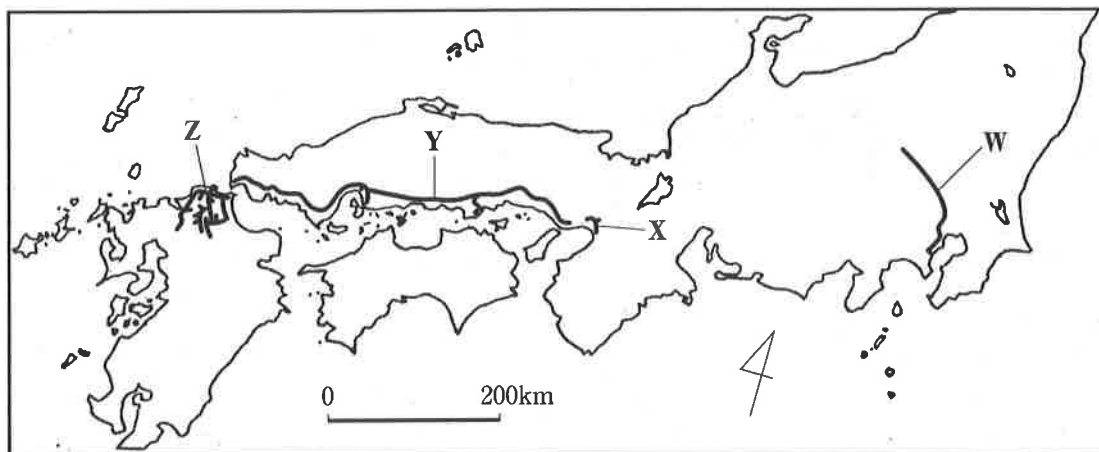
〔問2〕 我が国から東南アジアに渡り、定住する者も現れた。とあるが、次のⅠの略年表は、室町時代から江戸時代にかけての、我が国の海外との交流に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの略地図中のA～Dは、Ⅰの略年表中のある時期に日本町が栄えた都市を示したものである。Ⅲの文章は、ある時期の我が国の貿易の様子などについて述べたものである。Ⅲの文章で述べている貿易が行われた時期に当てはまるのは、Ⅰの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。また、Ⅲの文章で述べている日本町に当てはまるのは、Ⅱの略地図中のA～Dのうちのどれか。

西暦	我が国の海外との交流に関する主な出来事	
1432	●足利義満が遣淵を明に派遣した。……………	ア
1549	●フランシスコ・ザビエルが来日し、キリスト教を伝えた。……………	イ
1582	●大友義鎮・有馬晴信・大村純忠らが、天正遣欧使節を派遣した。……………	ウ
1690	●ケンベルがオランダ商館の医師として来日した。……………	エ
1792	●ラクスマンが大黒屋光太夫を護送して来日した。……………	



Ⅲ 幕府は、朱印状と呼ばれる書状を我が国の商船に与え、海外へ渡ることを許可し、東南アジアの国々に対しても、朱印状を持つ商船を保護することを求め、貿易体制を整備した。また、自治権をもつアユタヤの日本町では、王室に重く用いられる日本人も現れた。

〔問3〕 欧米の技術を取り入れたことで、より多くの人やものの移動が可能となり、経済が活性化⁽³⁾して欧米諸国に並ぶ発展を遂げた。とあるが、次の略地図中のW～Zは、1919年における我が国の鉄道の一部を示したものである。下のア～エは、W～Zのいずれかの鉄道の役割について述べたものである。W～Zのそれぞれに当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。



(「日本国鉄百年史」などより作成)

- ア かつて「天下の台所」と呼ばれた上方の大都市と郊外とを「電車」で結び、駅を中心に住宅や観光施設が建てられるなど、沿線を開発する役割を果たした。
- イ 江戸時代に発達した西廻り航路の一部と競合する形で、外国人居留地があった都市を起点に西へ路線を延ばし、沿線にある港や軍事拠点を結び、陸上輸送手段としての役割を果たした。
- ウ 日清戦争後にドイツの技術を導入した官営製鉄所が建てられた地域と、炭鉱の開発が進んだ周辺の炭田地帯とを結び、石炭輸送の役割を果たした。
- エ フランスの技術を導入した官営模範工場が建てられた生糸の生産地と、生糸輸出の中心となった貿易港とを結び、外貨獲得のための生糸の輸送を拡大する役割を果たした。

〔問4〕 我が国も様々なものを輸入したり、輸出したりするようになった。とあるが、次の略年表は、明治時代から昭和時代にかけての、我が国の輸入品に関する主な出来事についてまとめたものである。略年表中のAの時期に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

西暦	我が国の輸入品に関する主な出来事
1884	●日本橋の商店がアメリカ合衆国製万年筆を販売した。
1926	●東京駅と上野駅でドイツ製入場券自動販売機の使用を開始した。
1946	●マニラから輸入された1000トンの小麦粉が、東京港に到着した。……………A
1960	●我が国の航空会社が購入したアメリカ合衆国製ジェット旅客機が、東京国際空港……………(羽田空港)に到着した。
1981	●銀座に開店したフランス企業の直営店が、高級靴を販売した。

- ア 第四次中東戦争の影響を受けて発生した石油危機を、我が国は省エネルギー技術をより高め、自動車などの輸出を拡大して乗り切ったが、欧米諸国との間で貿易摩擦が生じた。
- イ ニューヨークで始まった株価の暴落が世界恐慌に発展する中で、我が国からの輸出は大きく減少し、企業の倒産や人員整理で失業者が増加する深刻な恐慌状態に陥った。
- ウ ヨーロッパを主な戦場とする第一次世界大戦が始まると、我が国からアメリカ合衆国やアジアの国々に向けた綿織物や生糸の輸出が増加し、貿易黒字となった。
- エ サンフランシスコ平和条約(講和条約)を結び、国際社会に復帰して経済復興が進む中で、関税と貿易に関する一般協定(GATT)に加盟し、我が国の貿易額は増加して好景気を迎えた。

情報は、様々な物事の内容や様子などを人々に知らせるだけでなく、知識や考え方などに影響を与える。私たちは、情報を収集したり分析したりして、社会の発展に役立ててきた。

古代から中世にかけて、文字や製紙技術などが広まると、情報が書物や絵画などとして記録され、残された。

時代が進み、支配者は統治をより強固なものにするため、様々な地域の情報を得ることを一層重視し、各地の調査を進めた。

産業革命により工業化を進めた欧米諸国がアジアに進出するようになった江戸時代末期以降は、近代国家としての体制を整えることが求められ、外国から得た情報が広く活用された。

20世紀になると科学技術の進展に伴って、様々な情報をより広い範囲の人々に、迅速に伝達する技術が開発されるようになった。

〔問1〕 古代から中世にかけて、文字や製紙技術などが広まると、情報が書物や絵画などとして記録され、残された。とあるが、次のア～エは、奈良時代から室町時代にかけて著された書物などについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 元軍を防いだことに対する恩賞などについて、幕府に対する御家人の不満が高まる中で、竹崎季長の活躍などを表したとされる「蒙古襲来絵詞」が制作された。

イ 遣唐使の派遣が停止され、我が国の風土や暮らしに合った文化が生まれる中で、清少納言により、宮中での日々などについて記した「枕草子」が著された。

ウ 寝殿造と禅宗の建築様式を折衷した金閣が建てられるなど、大陸の影響を受けて新たな文化が生まれる中で、足利義満に保護された世阿弥により、能についてまとめた「風姿花伝」が著された。

エ 律令国家の仕組みが定められ、中央集権的な体制が形成される中で、天武天皇の子である舎人親王らにより、天皇に関する記述を中心に我が国の歴史をまとめた「日本書紀」が編纂された。

〔問2〕 支配者は統治をより強固なものにするため、様々な地域の情報を得ることを一層重視し、各地の調査を進めた。とあるが、次の文章は、各地の調査を行った人物の日記の一部を分かりやすく示したものである。この日記に書かれた調査について述べているのは、下のア～エのうちではどれか。

- 寛政12年8月8日、昼、太陽を測り、昼の後より十間縄を以てクナシリ（国後島）、ネモロ（根室）他、ところどころの方位を測る。夜は薄曇。
- 文化2年8月4日、朝、大曇天。我等、淀小橋より下鳥羽村迄測る。

ア 徳川家斉が將軍のときに、幕府は、外国船の来航に備えて海岸線などの調査を進めさせ、我が国の国土の輪郭を描いた全国的な実測図が作成された。

イ 豊臣秀吉は、統一したもののさしや枺を用いて田畑の面積などを調査する太閤検地を行い、全国の田畑の生産力を石高によって示した。

ウ 徳川家康は、江戸を中心とした街道の整備を進め、日本橋からの距離を調査し、東海道や東山道、北陸道の両脇に樹木を植えた塚を一里（約4km）ごとに築き始めた。

エ 武田信玄は、領国内の地理的な状況について調査させるとともに、軍が速やかに移動できるよう、高低差や曲がり角を少なくした軍事用の道路を整備した。

〔問3〕 近代国家としての体制を整えることが求められ、外国から得た情報が広く活用された。

(3)
とあるが、次のⅠの略年表は、江戸時代から昭和時代にかけて、我が国の発展に貢献した人物に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は、福沢諭吉によって著された書物について述べたものである。Ⅱの文章で述べている書物が著された時期に当てはまるのは、Ⅰの略年表中の **ア**～**エ** の時期のうちではどれか。

Ⅰ	西暦		Ⅱ
	1853	●アメリカ合衆国で教育を受けた中浜万次郎が、幕府の…… 普請役格の役人として迎えられた。	○この書物は、17編からなり、全ての国民に小学校教育を受けさせようとする学制が公布された年に初編が刊行された。
	1871	●来日していた外国人宣教師の指導を受けた大隈重信…… が、外国への使節の派遣を発議した。	
	1900	●アメリカ合衆国に留学した経験をもつ津田梅子が、女子…… 英学塾を開設した。	○この書物は、「天は人の上に人を造らず」で始まり、一国の独立は個人の独立に基づき、個人の独立のためには学問をすることが大切であると説いた。
	1924	●ドイツに留学した経験をもつ山田耕作が、日本交響楽…… 協会を設立した。	
	1935	●湯川秀樹が「素粒子の相互作用について」と題する…… 論文を英文にまとめたものが、「日本数学物理学会報」に掲載された。	

〔問4〕 様々な情報をより広い範囲の人々に、迅速に伝達する技術が開発されるようになった。

(4)
とあるが、次の **ア**～**エ** は、昭和時代から平成にかけて、情報の伝達技術が発達した時代背景と新たな技術開発の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

	情報の伝達技術が発達した時代背景と新たな技術開発の様子
ア	○投機によって株式と土地の価格が上がるバブル経済が発生し、拡大する中で、ベルリンの壁の崩壊などのニュースが、地上波による放送だけではなく衛星放送でも伝えられた。 ○防災情報に関するデータや映像などを表示するマルチスクリーンディスプレイが開発され、新たに西新宿に落成した東京都庁舎に設置された。
イ	○我が国が独立国としての主権を回復し、復興が進む中で、テレビの本放送が始まり、街角に設置された街頭テレビに人々が集まり、大相撲やプロ野球などが視聴された。 ○我が国の企業によって、持ち運びできるトランジスタテレビが世界で初めて開発され、日本橋で商品発表が行われた。
ウ	○戦争が長期化し、国家総動員法が公布されるなど戦時体制が形成される中で、政府は内閣情報局を設置し、戦況などに関する報道に対して統制を行った。 ○放送技術の開発を専門とする我が国唯一の研究機関として、放送技術研究所が砧に開設され、テレビの実験放送が開始された。
エ	○重化学工業が発展し、技術革新が進む中で、大阪で開催された万国博覧会では、迷子センターでテレビ電話を用いるなど、新たに開発された技術が取り入れられた。 ○駒場の東京大学内に設立された宇宙工学などに関する研究機関が、人工衛星の打ち上げを我が国で初めて成功させた。

7

次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

我が国の行政の役割は、国会で決めた法律や予算に基づいて、政策を実施することである。
 (1) 行政の各部門を指揮・監督する内閣は、内閣総理大臣と国務大臣によって構成され、国会に
 (2) 対し、連帯して責任を負う議院内閣制をとっている。

行政は、人々が安心して暮らせるよう、社会を支える基本的な仕組みを整え、資源配分や
 (3) 経済の安定化などの機能を果たしている。その費用は、主に国民から納められた税金により
 (4) 賄われ、年を追うごとに財政規模は拡大している。

〔問1〕 我が国の行政の役割は、国会で決めた法律や予算に基づいて、政策を実施すること
 (1) ある。とあるが、内閣の仕事の規定する日本国憲法の条文は、次のア～エのうちではどれか。
 ア 条約を締結すること。但し、事前に、時宜^{じぎ}によっては事後に、国会の承認を経ることを必要とする。

イ 両議院は、^{おの}各々国政に関する調査を行ひ、これに関して、証人の出頭及び証言並びに記録の提出を要求することができる。

ウ すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

エ 地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基いて、法律でこれを定める。

〔問2〕 内閣は、内閣総理大臣と国務大臣によって構成され、国会に対し、連帯して責任を負う
 (2) 議院内閣制をとっている。とあるが、次の表は、我が国の内閣と、アメリカ合衆国の大統領の権限について、「議会に対して法律案を提出する権限」、「議会の解散権」があるかどうかを、権限がある場合は「○」、権限がない場合は「×」で示そうとしたものである。表のAとBに入る記号を正しく組み合わせているのは、下のア～エのうちのどれか。

	我が国の内閣	アメリカ合衆国の大統領
議会に対して法律案を提出する権限	○	A
議会の解散権	B	×

	ア	イ	ウ	エ
A	○	○	×	×
B	○	×	○	×

〔問 3〕 (3) 社会を支える基本的な仕組みを整え、資源配分や経済の安定化などの機能を果たしている。とあるが、次の文章は、行政が担う役割について述べたものである。この行政が担う役割に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

社会資本は、長期間にわたり、幅広く国民生活を支えるものである。そのため、時代の変化に応じて機能の変化を見通して、社会資本の整備に的確に反映させ、蓄積・高度化を図っていくことが求められる。

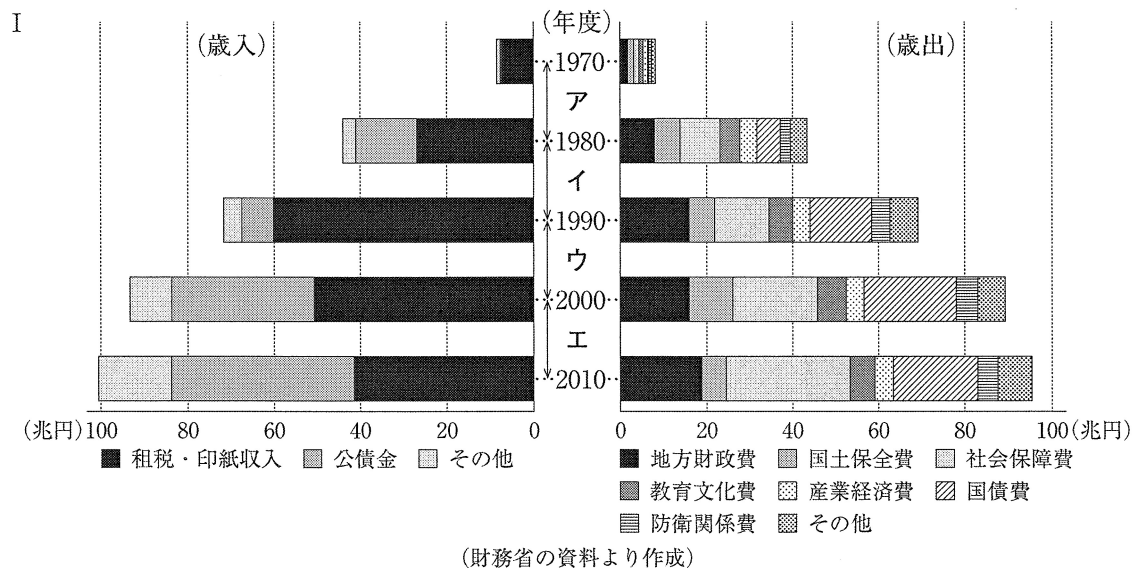
ア 収入が少ない人々に対して、国が生活費や教育費を支給し、最低限度の生活を保障し、自立を助ける。

イ 国民に加入を義務付け、毎月、保険料を徴収し、医療費や高齢者の介護費を支給し、国民の負担を軽減する。

ウ 保健所などによる感染症の予防や食品衛生の管理、ごみ処理などを通して、国民の健康維持・増進を図る。

エ 公園、道路や上下水道、図書館、学校などの公共的な施設や設備を整え、生活や産業を支える。

〔問 4〕 (4) 主に国民から納められた税金により賄われ、年を追うごとに財政規模は拡大している。とあるが、次のⅠのグラフは、1970年度から2010年度までの我が国の歳入と歳出の決算総額の推移を示したものである。Ⅱの文章は、ある時期の我が国の歳入と歳出の決算総額の変化と経済活動の様子について述べたものである。Ⅱの文章で述べている経済活動の時期に当てはまるのは、Ⅰのグラフのア～エの時期のうちではどれか。



Ⅱ

○この10年間で、歳入総額に占める租税・印紙収入の割合の増加に伴い、公債金の割合が低下し、歳出総額は約1.5倍以上となり、国債費も約2倍以上に増加した。

○この時期の後半には、6%台の高い経済成長率を示すなど景気が上向き、公営企業の民営化や税制改革が行われる中で、人々は金融機関から資金を借り入れ、値上がりを見込んで土地や株の購入を続けた。

経済は、家計、企業、政府が主体となって動いている。私たちの生活は、収入と支出から成り立つ家計と深く関わり、主な収入としては、⁽¹⁾働くことによって得る賃金などがあり、その金額は時代とともに変化してきた。

一方、支出には、⁽²⁾企業などが生産した生活必需品の購入代金があり、家計と企業は深く結び付いている。

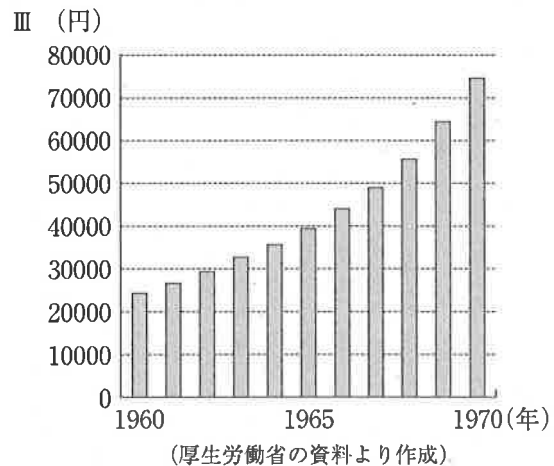
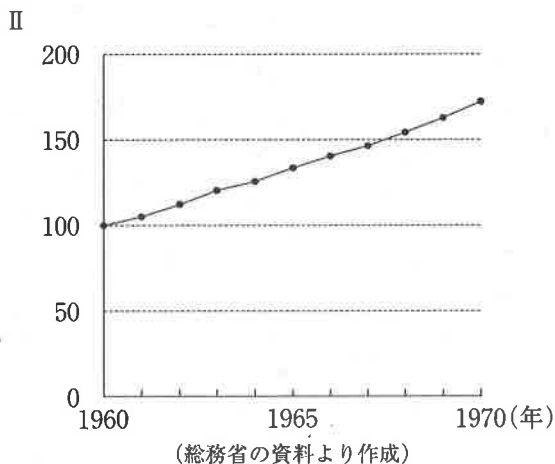
私たちの暮らしをより良くするため、政府が行う経済活動を財政と呼び、⁽³⁾この財政は、家計や企業から支出される税金などで賄われている。また、財政の在り方に国民の意思が十分に反映されるよう、⁽⁴⁾国の財政を処理する権限は、国会の議決に基づいて、これを行行使しなければならない、と日本国憲法で定められている。

このように、家計、企業、政府が関わり合って、我が国の経済は発展している。

- 〔問1〕⁽¹⁾働くことによって得る賃金などがあり、その金額は時代とともに変化してきた。とあるが、次のⅠの文は、1960年に閣議決定された国民所得倍增計画の構想の一部を抜粋したものである。Ⅱのグラフは、我が国の消費者物価指数について、1960年から1970年までの推移を1960年を100とした指数で示したものである。Ⅲのグラフは、我が国の一人当たりの月間現金給与額について、1960年から1970年までの金額の推移を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料を活用し、1960年と1970年を比較した国民生活の変化について、消費者物価指数と月間現金給与額の増加割合に着目し、簡単に述べよ。

- Ⅰ 国民所得倍增計画は、速やかに国民総生産を倍增して、雇用の増大による完全雇用の達成をはかり、国民の生活水準を大幅に引き上げることを目的とするものでなければならない。

(経済企画庁編「国民所得倍增計画」1960年より作成)



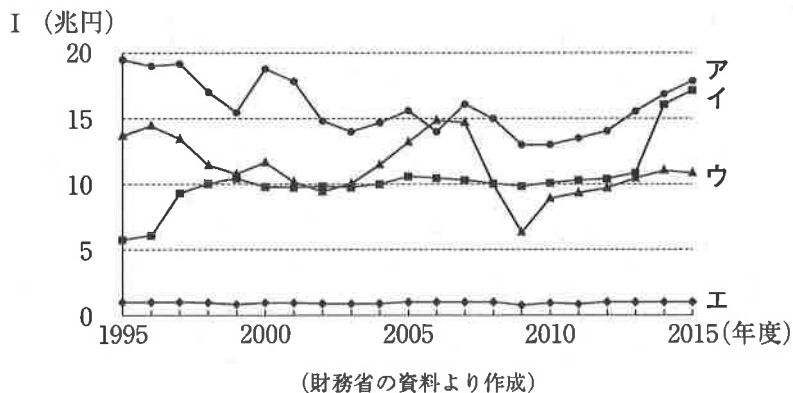
- 〔問2〕⁽²⁾企業などが生産した生活必需品の購入代金があり、家計と企業は深く結び付いている。とあるが、次のページのⅠの表は、我が国の1970年から2015年までの消費支出を、月当たり、一世帯当たり^{はきものひ}に換算し、更に食料費、光熱・水道費、被服及び履物費、家具・家事用品費、交通・通信費、その他の項目について、消費支出に占める割合の推移を示したものである。次のページのⅡの文章は、被服及び履物費について述べたものである。Ⅱの文章で述べている項目に当てはまるのは、次のページのⅠの表のア～エのうちではどれか。

I	消費支出	食料費 (%)	ア (%)	イ (%)	ウ (%)	エ (%)	その他 (%)
1970年	82582円	32.2	9.3	5.5	4.1	5.1	43.8
1975年	166032円	30.0	9.0	6.6	4.1	5.0	45.3
1980年	238126円	27.8	7.5	8.5	5.3	4.2	46.7
1985年	289489円	25.7	7.0	9.7	5.9	4.2	47.5
1990年	331595円	24.1	7.2	10.1	5.1	4.0	49.5
1995年	349663円	22.6	6.0	11.0	5.6	3.7	51.1
2000年	340977円	22.0	5.0	12.8	6.2	3.3	50.7
2005年	328649円	21.6	4.6	14.3	6.5	3.1	49.9
2010年	318211円	21.9	4.3	15.1	6.8	3.3	48.6
2015年	315428円	23.6	4.3	15.8	7.3	3.5	45.5

(総務省統計局「家計調査年報 平成27年 家計収支編」などより作成)

II 消費支出に占める割合は、1970年から2015年にかけて減少傾向にある。近年の傾向には、百貨店での購入の減少などが影響している。また、2010年から2015年にかけて、食料費の消費支出額が増加しているのに対し、被服及び履物費は約13000円台で推移している。

〔問3〕この財政は、家計や企業から支出される税金などで賄われている。とあるが、次のIのグラフのア～エは、1995年度から2015年度までの我が国の法人税、消費税、関税、所得税の収入額の推移について示したものである。IIの文章で述べている税に当てはまるのは、Iのグラフのア～エのうちのどれか。



II 株式会社などが、事業活動を通じて得た所得に課せられる国税で、事業規模によって税率が決定される。景気の変動を受けやすく、世界金融危機後の2年間で約6割の下落を記録した。

〔問4〕⁽⁴⁾国の財政を処理する権限は、国会の議決に基づいて、これを行使しなければならない、と日本国憲法で定められている。とあるが、次のIのA～Eは、第183回通常国会で「平成25年度予算案」の議決までの経過について示したものである。IIの機関が開かれたのは、下のA～Eのうちではどれか。

- I
- A 第183回通常国会が開会される。(1月28日)
 - B 衆議院・参議院に平成25年度予算案が提出される。(2月28日)
 - C 衆議院で平成25年度予算案が可決される。(4月16日)
 - D 参議院で平成25年度予算案が否決される。(5月15日)
 - E 日本国憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決が国会の議決となる。(5月15日)
- (参議院のホームページより作成)

II この機関は、両議院各10名の代表者から構成され、両議院の意見調整が行われる。

ア AとBの間 イ CとDの間 ウ BとCの間 エ DとEの間